

令和4年11月9日

学生・教職員各位

盛岡大学・盛岡大学短期大学部 学長 高橋 俊和
盛岡大学・盛岡大学短期大学部 学生部長 千葉 智行
盛岡大学ウエルネスセンター所長 久保木 眞

新型コロナ・緊急情報 「ウエルネスセンターBA.5 対策強化宣言」

学内での感染者数が11月7日に5名、11月8日に9名と激増しています。1日の感染者としては過去最多の感染者が報告されました。また、濃厚接触者や感染疑い例も11月8日には30名以上となり、学内での複数のクラスター発生が懸念される事態と判断しました。これまでは、感染者数が多くても散発的な発生に留まっていたましたが、今回は、学内での感染が確認されました。このような状態が続けば、今後、休講や多数の欠席者により対面での授業の継続が困難になることも予想されるため「BA.5 対策強化宣言」を行うこととしました。

学生・教職員の皆さんには、改めて次の事項の確認をお願いします。

1. 感染防止対策の徹底

- 適切なマスク着用
- 接触は可能な限り短時間で、換気の徹底
- 飲食時は出来限り人との距離をとり黙食
- 重症化リスクの高い方を感染から守るために、「うつらない、うつさない」行動を
- 無症状感染者や無自覚感染者が存在することを忘れずに

(感染ルートについての再確認)

新型コロナウイルスの感染は、近距離の感染者から排出されるウイルスを吸い込むことで成立します。また、空気中に存在するウイルスを吸入することで感染が成立します。発症日の2日前からウイルスの排出が始まります。症状が出る前には自分が感染してウイルスを排出していることは分かりません。これで容易に感染が拡大するのです。換気が感染予防に重要な理由です。

2. 感染予防策

新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種は早めに！

10月からインフルエンザワクチンの接種を開始し、これまで512名の方が接種を受けられました。11月からは、並行して新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種を開始しています。自身の感染予防には速やかなワクチン接種が必要で

す。インフルエンザワクチンとの同日接種も可能です。副反应对策として、ウエルネスセンターでは、接種時に副反应对策として希望者には解熱鎮痛剤を無償で配付しています。学外で接種を予定している方にも配付可能ですのでその際はウエルネスセンターまでお越しください。副反応は1~2日です。感染した場合は、回復に早くて1週間、症状が長引けば10日間程度つらい症状を経験することになります。また、快復後も半年から1年間にわたって後遺症に苦しむケースもあります。感染経路不明例が増加しています。これは、もう誰が感染しても不思議ではない状況です。スケジュールを調整して可能な限り早めに接種を受けるようにして下さい。接種後、感染を防ぐのに十分な抗体ができるには2週間から4週間程度の時間が必要です。感染爆発が起こる前に接種を済ませることが大切です。医学的理由などでワクチン接種を受けることが出来ない人は、前述の感染予防策を徹底(特に密閉空間を避ける)して下さい。

3. ウエルネスセンターからのお願い

ウエルネスセンターでは、これまで医師・看護師が休日や夜間も対応してきましたが10月からのワクチン接種開始、また感染者急増に伴う濃厚接触者/接触者・感染疑い例の増加により、業務が逼迫し、従来通りのすべての方への対応が困難になってきました。そこで感染拡大防止と感染者の治療支援に重点的に医療資源を割り当てることと致しました。以下の点についてご協力をお願いいたします。

- ① Formsによる各種報告は可能な限り17時までとして下さい。緊急時はこの限りではありません。
- ② 感染が確認された場合は、速やかに連絡をお願いします。また、濃厚接触者や接触者(該当するかどうか不明な場合も)への連絡をし、下記の濃厚接触者報告をして頂くようお願いいたします。
- ③ 夜間・休日の不急のご連絡や相談は控えて下さい。
- ④ ウエルネスセンターからのメールや電話には、必ず応答して下さい。連絡があった場合は速やかに返信して下さい。多くの人に順次対応していますので連絡が取れないと対応に長い時間を要してしまいます。
- ⑤ メールを送信する際には、必ず学籍番号・氏名を忘れずに記載して下さい。

4. ウエルネスセンターからの感染状況報告について

- ① ウエルネスセンターホームページで学内の感染状況を報告しています。
<https://wellness.morioka-u.ac.jp/covid-19form/>
(原則として前日23時前後までに判明した感染者数を報告しています)
- ② 感染報告/濃厚接触者報告/感染が疑い/ワクチンの副反応 の報告フォームも同じページにあります。